

# リュウゼツラン成長日記

7月8日現在  
720cm

- 5月 1日 花茎120cm 竹の節のような部分から枝になる芽のようなものが出始めているのを発見。
- 5月 9日 花茎250cm 下部の葉が茶色に変色して枯れ始める。養分を茎に送り葉の役目を終えたようだ。
- 5月 13日 花茎305cm 茶色だった茎が緑色に変わってきた。
- 5月 16日 花茎350cm 大きなグリーンアスパラのように。茎の表面はザラついています。
- 5月 19日 花茎370cm 茎がどんどん伸びています。
- 6月 2日 花茎480cm 花芽のようなものが、一つ見えてきました。
- 6月 10日 花茎540cm 茎の先端近くから、数本の花芽が横向きに伸びてきました。
- 6月 16日 花茎625cm 茎の成長が進み、花芽先端の蕾が開きかけています。
- 6月 30日 花茎690cm 茎は成長し続け、蕾の先が黄色く色づきましたが、開花はまだのようです。
- 7月 8日 花茎720cm ようやく開花しました。茎はまだ成長し続けております。

(7月8日撮影)

## 竜舌蘭

リュウゼツラン

トゲ

茎

茎で収穫  
・葉に貼って乾燥させれば  
・乾燥した葉をすりつぶして  
・乾燥した葉をすりつぶして  
・乾燥した葉をすりつぶして

葉

植物  
科(アガベ科)  
属(リュウゼツラン属)

地元御前崎の看板ジャスト(池田代表)さんより、リュウゼツランの看板を作ってもらいました。葉、茎、トゲの利用効能が描かれています。ぜひご覧ください。

## アオノリュウゼツラン

リュウゼツラン科  
リュウゼツラン属

メキシコを中心にアメリカ南西部と中南米の熱帯域に自生します。成長が遅く花を咲かせるのに数十年を要し、あまりの成長の遅さに10年に一度開花するという意味でセンチュリープラントという英語別名が付けられています。日本では30~50年で開花し、開花時期を迎えた株は、株の中心から伸びる花茎へと養分の転流が起こり下の葉から枯れ始めるとともに花茎が急成長します。花茎は日に10センチほど成長し、2か月ほどで高さ10メートルにもなり多くの花をつけます。開花後は枯れてその生涯を閉じますが、同時に周囲に子株を作り次代へと引き継がれます。

ここエコパークでは、過去に2008年と2011年、2013年に開花した実績があります。花の咲いている姿を見ることができるのは大変珍しいことでもあります。



問い合わせ先  
御前崎エコクラブ  
山本貴美枝

8  
7  
6  
5  
4  
3  
2  
1